

《専門教育科目 専門基礎科目》

| | | | | | |
|---------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 国語科教育法（書写を含む） | | | | |
| 担当者氏名 | 岡 美佳 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2・選択必修 | 開講年次・開講期 | 2年・秋期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性 | | | | |

《授業の概要》

小学校における国語科教育の進め方、あり方、学習指導要領を踏まえた指導案作成について講義する。学習指導要領の目標を分析することによる学習目標へのアプローチ、どのように授業を組立てていくのか、等について、演習などを交えて講義していく。指導案の作成、模擬授業により、講義内容の成果を確かめる。授業内レポート、模擬授業等が課せられるため、積極的な参加が求められる。

《授業の到達目標》

到達目標：学習指導要領に示された指導内容を踏まえた小学校国語科の指導案を作成し、実際に国語科の授業ができること。

《成績評価の方法》

指導案 課題提出 授業態度 模擬授業により評価する。
 授業内レポート・小テスト 20%、模擬授業演習 40%、指導案 40%

《テキスト》

「新編 新しい国語 4年上」東京書籍（小学校教科書）
 「小学校学習指導要領解説 国語編」東洋館出版社

《参考図書》

国語科の授業に関するDVDや参考図書を図書館に所蔵している
 ので、参考にするとよい。適宜資料プリントを配布する。

《授業時間外学習》

学習指導要領との関連に留意しながら、書籍やネット上にある指導案を読み、その内容から授業を頭の中でシミュレートすることを心がけると、指導案と授業との関連が理解できる。ボランティアやアルバイトを通して、子どもの姿や実際の授業に触れることは、講義内容を身に付ける上で大変役立つ。

《備考（教員経験の有無）》

教育施策の方向性により授業内容に変更が生じる場合がある

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 |
|----|---------------------|---|
| 1 | オリエンテーション | 講義の概要説明 |
| 2 | 授業の構成・工夫 | 授業の構成・工夫について学ぶ 国語科指導のDVDを見て授業の工夫について考察する |
| 3 | 国語科の目標 | 小学校国語科で何を学ぶか（国語科学習指導要領の構成・国語科の目標） |
| 4 | 「知識及び技能」「話すこと・聞くこと」 | 小学校国語科で何を学ぶか 学習指導要領に基づいて（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」のA「話すこと・聞くこと」） |
| 5 | 「読むこと」「書くこと」 | 小学校国語科で何を学ぶか 学習指導要領に基づいて（C「読むこと」B「書くこと」） |
| 6 | 「読むこと」の指導 | 教材研究・指導案の作成・指導方法について（「読むこと」の指導）「読むこと」の指導に使えるようなアプリを探してみよう |
| 7 | 「書くこと」の指導 | 教材研究・指導案の作成・指導方法について（「書くこと」の指導）「書くこと」の指導に使えるようなアプリを探してみよう |
| 8 | 「話すこと・聞くこと」の指導 | 教材研究・指導案の作成・指導方法について（「話すこと・聞くこと」の指導）「話すこと・聞くこと」の指導に使えるようなアプリを探してみよう |
| 9 | 「書写」の指導（1）硬筆 | 教材研究・指導案の作成・指導方法について（「書写」の指導） |
| 10 | 模擬授業（1）低学年 | 模擬授業（2）低学年（「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」「書写」の指導） |
| 11 | 模擬授業（2）中学年 | 模擬授業（3）中学年（「話すこと・聞くこと」「読むこと」の指導） |
| 12 | 模擬授業（3）中学年 | 模擬授業（4）中学年（「読むこと」「書くこと」「書写」の指導） |
| 13 | 模擬授業（4）高学年 | 模擬授業（5）高学年（「話すこと・聞くこと」「読むこと」の指導） |
| 14 | 模擬授業（5）高学年 | 模擬授業（6）高学年（「読むこと」「書くこと」「書写」の指導） |
| 15 | 「書写」の指導（2）毛筆 | 水で書ける半紙を用い、毛筆による書写の基礎を实践する |